

➤ 証券会社をかたる広告等について

SNS (Facebook、Instagram、X (旧Twitter)、LINEのグループチャット機能等) やSMSを中心に、証券会社や日本証券業協会のロゴ・類似名称・コンテンツ、著名人の写真等を無断使用し、証券会社や日本証券業協会をかたる広告等(以下、「偽広告等」)が確認されている。

➤ 偽広告等への対応について

偽広告等への対応について、インターネット証券評議会を中心に検討を開始

【検討事項】

- 投資家が騙されないための工夫
- 証券会社の対応
- SNS運営者(プラットフォーム)に偽広告等を掲載させないための取組み

⇒ 金融庁と連携して「投資家向けの注意喚起」について早急に対応

- 本協会・金融庁ウェブサイトにおける投資家向け注意喚起の掲載
- ⇒ 本協会ウェブサイトにて投資家向け注意喚起ページ「証券会社や日本証券業協会をかたる偽アカウント・偽広告等にご注意ください！」を開設、リンク設定用バナーを作成し、協会員に対して注意喚起の協力依頼等（協会員通知）を行う。

【リンク設定用バナー(3種類)】



The screenshot shows the Financial Services Agency website. At the top, there is a navigation bar with links for Home, About the Agency, News & Publications, Policy & Regulatory, Orders & Guidelines, Financial Market Information, International Relations, and Access to the Agency. Below this is a search bar and social media icons. The main content area features a tweet link titled '金融庁からのお願い・注意喚起' (Financial Services Agency's Request and Notice). A red box highlights this link. Below the link, there is a list of related topics, including '金融機関のマネロン対策にご協力ください' and '金融庁や銀行などを騙る詐欺に関する注意喚起'. A callout box points to the highlighted link with the text: '金融庁ウェブサイト「金融庁からのお願い・注意喚起」に証券会社や日本証券業協会を騙ったSNS上の偽広告等に注意！のページを追加' (Added a page to the Financial Services Agency website 'Financial Services Agency's Request and Notice' regarding false advertisements on SNS that impersonate securities companies or the Japan Securities Dealers Association!).



HOME > 日証協について > 日証協の業務 > 金融商品市場の健全な発展を推進する業務 > 投資者向けの注意喚起 >
証券会社や日本証券業協会をかたる偽アカウント・偽広告等にご注意ください!

証券会社や日本証券業協会をかたる偽アカウント・偽広告等にご注意ください!



SNS (Facebook、Instagram、X (旧Twitter)、LINEのグループチャット機能等) やSMSを中心に、証券会社や日本証券業協会のロゴ・類似名称・コンテンツ、著名人の写真等を無断使用し、証券会社や日本証券業協会又はその役職員をかたる悪質な偽アカウント・偽広告等で以下の行為が行われていますので十分ご注意ください。

- ① LINEグループや情報商材販売サイトに誘導
- ② 暗号資産や投資ツール等の投資詐欺
- ③ 個人情報の不正取得

URL: https://www.jsda.or.jp/about/hatten/inv_alerts/alearts05/index.html

事例紹介

事例①

- ・ SNSで著名人の写真を無断転載し、証券会社や日本証券業協会の広告を装い、情報商材販売サイトなどへ誘導する。

事例②

- ・ SNSで証券会社の公式アカウントを装い、LINEグループへの参加や詐欺サイトへのアクセスを誘導する。





元本保証で
高利益が保証されている
金融商品は存在しないね…



事例③

- ・ 普段取引がない証券会社の役職員を名乗って、LINEやSNSに突然連絡をし、特定の銘柄の投資勧誘や口座開設を要求する。

事例④

- ・ SNSで証券会社の役職員を装い、特定の銘柄の投資勧誘を行い、振込先を指定して入金を要求する。



悪質な偽アカウント・偽広告等に記載されていた文言例

- ・ 寝ている間に利益が出ます! 私たちのLINEに入ってください。
- ・ ただクリックするだけで…簡単に月収100万円になる方法クリックするだけで爆益 元本割れしない投資ができます!
- ・ 高精度な株式情報を無料で手に入れることができます! 俳優の〇〇さんの愛読書の投資本です! (しかし、プレゼント主は広告でかたられた証券会社ではなく、全く別の会社)
- ・ 〇か月で月収が5倍に! 今月は100万円の利益! 現在の勝率は95%! 参加メンバーのほとんどが私のチームに入っています!

偽アカウント・偽広告等の見分け方のポイント

- ・ 普段取引のない証券会社やその役職員を名乗る者からの連絡であること。
- ・ 普段取引のある証券会社を名乗っていても、これまでは用いられたことのない連絡方法であること、唐突な内容であること。
- ・ 「元本保証」・「確実に儲ける方法」等、必ず利益がでることを謳う広告であること。
- ・ 公式アカウント(正式な会社・組織名)とユーザー名が異なっている。
- ・ 広告主の所在地等を見ると、証券会社の本店・支店の所在地と異なっている。
- ・ 特定の銘柄を購入するための入金を求められたが、振込先口座が個人名義の口座である。

少しでも怪しいと思った場合には、直ぐにやり取りを中断して、以下のような方法で証券会社へご確認ください。

1. 証券会社の公式ホームページに記載されたコールセンター等へ問合せを行う。
2. 証券会社の公式ホームページ等で、注意喚起が行われていないか確認する。

【参考】日本証券業協会 証券会社ホームページ一覧<こちら>



悪質な偽アカウント・偽広告等の被害を拡大させないために

悪質な偽アカウント・偽広告等から、次のようなことをされた場合

- ・ LINEグループや情報商材販売サイトに誘導された
- ・ 投資勧誘を受けた
- ・ 金銭の支払いの話が持ちかけられた



やり取りを中断し、絶対に入金は行わない。



- ・ 偽アカウント・偽広告等のブロックやSNSの運営会社に対して違反の報告を行ってください。
- ・ 以下のいずれかへご連絡・ご相談ください。

相談窓口

<p>金融庁</p>	<p>■ 金融庁金融サービス利用者相談室</p> <p>受付時間：平日10:00～17:00 電話（ナビダイヤル）：0570-016811 ※IP電話からは、03-5251-6811におかけください。 インターネットによる情報の受付は、こちら</p> <p>市場の公正性・透明性の確保や投資者保護の上で問題があると思われるような情報は、以下でも受け付けております。</p> <p>■ 証券取引等監視委員会 情報提供窓口</p> <p>電話（ナビダイヤル）：0570-00-3581 ※IP電話からは、03-3581-9909におかけください。 インターネットによる情報提供窓口は、こちら</p>
<p>警察</p>	<p>■ 警察相談専用窓口 #9110 又は最寄りの警察署まで 原則、平日8:30～17:15 ※各道府県警察本部で異なります。土日祝日・時間外は、24時間受付体制の一部の県警を除き、当直又は音声案内で対応</p>
<p>日本証券業協会</p>	<p>■ 株や社債をかたった投資詐欺被害防止コールセンター</p> <p>受付時間：平日10:00～17:00 電話：0120-344-999</p>

参考例(日本証券業協会の偽アカウントや事例など)

- ・ 日本証券業協会が運営する公式アカウントも、偽アカウントが報告されております。
- ・ 例えば、公式マークを利用しているアカウントであったとしても、参考事例のような箇所に注目して、確認ください。

【参考例】日本証券業協会の偽アカウント(Xの場合)

公式アカウント	偽アカウント(例)
 <p>日本証券業協会 @JSDAofficial</p> <p>日本証券業協会の公式アカウントです。投資家へのお知らせ、各種イベント・セミナーの告知、報告など日証協の業務に関する情報などについて紹介しています。</p> <p>東京都中央区日本橋 2-11-2 jsda.or.jp</p>	 <p>日本証券協会 ... ① @nisemono_narisumashi_xxx ... ②</p> <p>日本証券協会の公式アカウントです。日本証券協会が発信する高配当・元本保証の株投資情報をお届けします!</p> <p>〇〇県××市△△ ... ③ fake_xxx.or.jp... ④</p>

着眼点

1. 公式アカウント(正式な会社・組織名)とユーザー名が異なる。
公式アカウントの多くは金色や青色の公式マーク(認証バッジ)を取得していますので、参考としてください。
2. 公式アカウントとユーザー名が異なる。
例えば、日本証券業協会のSNSの公式アカウントは、以下のものです。
X: @JSDAofficial (<https://twitter.com/JSDAofficial>)
@toushi_kun104 (https://twitter.com/toushi_kun104)
Facebook: 日本証券業協会 (<https://www.facebook.com/JSDA.PR>)
3. 所在地が、本店と異なる。
4. ウェブサイトが公式ウェブサイトと異なる。

<事例>

- ・ 2023年3月・8月 FacebookやInstagram等のSNSにおいて本協会コンテンツを無断転載し、LINEグループや情報商材販売サイトに誘導している事例。

※ 以下、実際に無断転載されたサムネイル等



本協会が、LINEグループへの参加を促したり情報商材を販売したりすることは一切ございませんのでご注意ください。

- ・ 2017年2月 証券会社の社員を騙った者から「日証協の役員に金銭を渡す必要があることから、指定の銀行口座に金銭を振り込め」という指示があり、振り込んでしまった事例。
- ・ 2016年11月 日本証券業協会返還部(または返還業務部等)の役職員を騙った者から、通報者の持っている未公開株の返金に関する電話があった事例。
- ・ 2016年10月 日本証券業協会の役職員を騙った者から、通報者の持っている社債を高値で買取る旨の電話があった事例。
- ・ 2016年1月 日本証券業協会の役職員を騙った者から、未公開株式詐欺の被害者に、被害回復を行うための手数料と称して金銭を要求する電話があった事例。

お問い合わせ

会員部 03-6665-6768
普及推進部 03-6665-6765

※ 株や社債をかたった投資詐欺被害防止コールセンターについては、普及推進部にお問い合わせください。